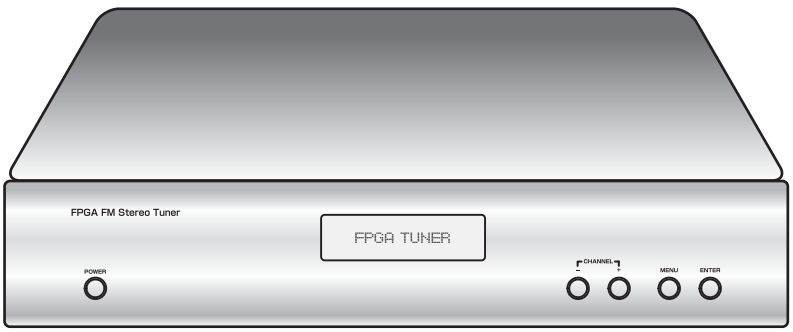
FPGA FM STEREO TUNER HOUSING

取扱説明書

（兼保証書）



港北ネットワークサービス株式会社

1 安全のために

本機を安全にご使用頂くためにお守り頂きたいことが記載されています

■表示について

本書では誤った使い方すると想定される危険性別に記号を用いて説明しています。
使用している記号は次のとおりです。

⚠警告---- 誤った使い方をすると、火災や感電などにより、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

⚠注意---- 誤った使い方をすると、怪我をしたり、家財に損傷を与えたりする可能性が想定される内容です。

高温注意　感電注意

---- これらのマークは注意を促しています。

分解禁止　ぬれ手禁止

---- これらのマークは禁止事項を示しています。

電源プラグを抜く　必ずする

---- これらのマークは必ず実施しなくてはならないことを示しています。

⚠警告

異常がある状態で使用しない

故障の際や次のような場合は使用せずに、すぐに電源プラグを抜き、当社までメンテナンスを依頼してください。

電源プラグを抜く

- 発煙している、異臭がする、変な音がする
- 本機に液体がかかった、内部に異物が混入した
- 本機を落とした

キャビネットを開けない、分解しない

分解禁止

お客様自身による内部の点検や改造は、火災や感電の原因となります。
点検のご依頼や改造は当社までご相談ください。

⚠警告

本体の上にものを置かない

使用中は温度が上昇します。効率よく排熱できるよう、本機上面にものを置かないでください。また、次のことを順守ください。

禁止

・本機の上部に物を置かない
・本機の全面および背面に 20cm 以上の十分な隙間を設ける
・本機を発熱する物（アンプなど）の上に設置しない
・通風の無い環境で使用しない
・室温 35 度以上の環境で使用しない

水気のある場所で使用しない

本機に水滴や液体が混入すると、火災や感電の原因となります。次のことを順守ください。

水濡れ禁止

・浴室など湿度の高い場所で使用しない
・本機の上部や周辺に水や液体が入ったものを置かない
・水滴がかかる場所で使用しない
・加湿器の近くに設置するなど、水蒸気がかかる場所で使用しない

電源ケーブルを傷つけない

電源ケーブルの取り扱いを誤ると火災や感電の原因となります。次のことを順守ください。

禁止

・電源ケーブルを踏みつけたり、重いものを載せた状態で使用しない
・電源ケーブルを束ねた状態で使用しない
・電源ケーブルを加工したり、傷つけたり、引っ張ったりしない
・電源ケーブルをコンセントに接続した際、突っ張った状態になるような場所に設置しない
・熱器具の近くなど、電源ケーブルが加熱されるような場所に設置しない

雷が鳴り出したら操作しない

禁止

雷が鳴っている際に本機やケーブル類、電源プラグなどに触れると感電の原因となります。

本機内部に異物を入れない

禁止

異物が混入すると、火災や感電の原因となります。特にお子様がいる環境ではご注意ください。

⚠注意

水平で十分な強度のある場所に設置する

禁止

本機は約 5.2kg の重量があります。不安定な場所に設置すると、思わぬ事故や怪我に繋がる恐れがあります。振動がなく、安定し、水平で十分な強度がある台に設置してください。

日本国内のみで使用する

禁止

本機は日本の標準電圧（交流 100V）で設計されています。表記の電源電圧以外で使用しないでください。

電源プラグは確実に差し込む

禁止

電源ケーブルや電源コネクタの取り扱いを誤ると火災や感電の原因になります。

屋外で使用しない

禁止

本機は室内で使用することを前提に設計されています。
本機に直射日光が当たるようなところでの使用を避けてください。

業務用途で使用しない

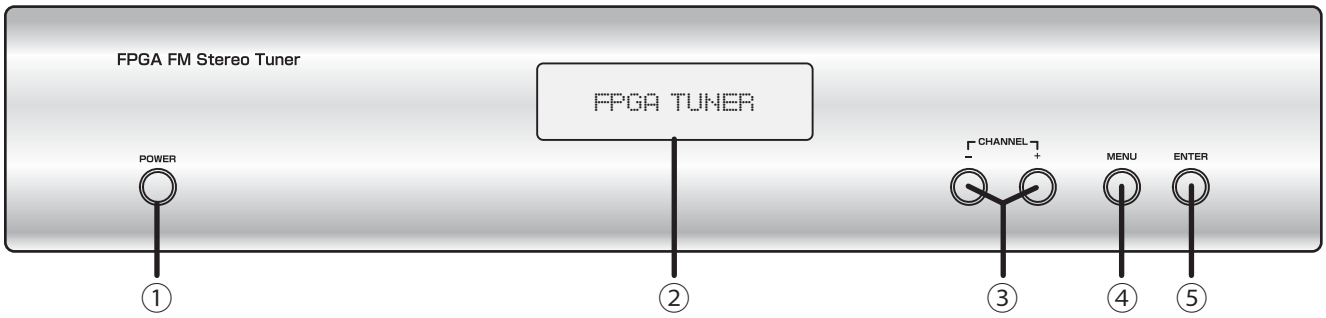
禁止

業務用途で使用しないでください。

2 各部の名称と働き

この項では本機に実装されているボタンや端子類について説明します

［フロントパネル］



①電源スイッチ（POWER）

押すごとに電源が入ったり、切れたりします。

②ディスプレイ

・受信モード：受信している周波数と放送局名を表示します。
・設定モード：設定項目を表示します。

③チャンネルボタン（CHANNEL　+/−）

・受信モード：選局するときのボタンです。＋を押すとアップします。−を押すとダウンします。
・設定モード：設定項目を選択します。

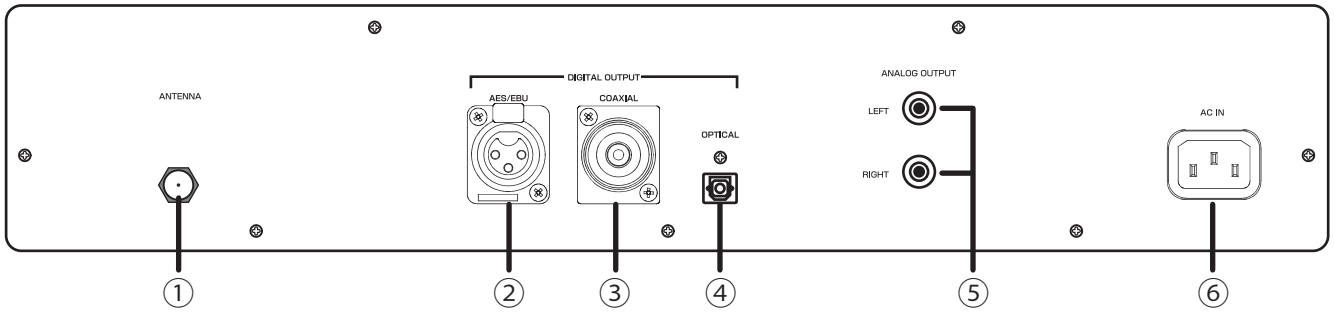
④メニューボタン（MENU）

1秒以上長押しすることで設定モードに入ります。
項目決定後、メニューボタンを押すと、設定モードから抜け、受信モードになります。

⑤決定ボタン（ENTER）

設定モード時、項目の決定をします。

[リアパネル]



①FM アンテナ取付端子（ANTENNA）

FM アンテナからの同軸ケーブルをこの端子に接続します。端子形状は F 型コネクタです。なお、FM 放送の信号を確実に捕えるために、また高層ビルや山からの反射波の少ない信号を受信するために、指向性を持った屋外設置の FM アンテナのご使用をお奨めします。

②AES/EBU 出力端子

AES/EBU 入力を備えているオーディオ機器に接続する際に使用します。端子形状は XLR コネクタです。接続側機器はサンプリング周波数 48kHz(量子化ビット数 16bit)または 96kHz(量子化ビット数 16bit)に対応している必要があります。

③デジタル音声 同軸出力端子（COAXIAL）

COAXIAL 入力を備えているオーディオ機器に接続する際に使用します。接続側機器はサンプリング周波数 48kHz（量子化ビット数 16bit）または 96kHz（量子化ビット数 16bit）に対応している必要があります。

④デジタル音声 光出力端子（OPTICAL）

OPTICAL 入力を備えているオーディオ機器に接続する際に使用します。接続側機器はサンプリング周波数 48kHz（量子化ビット数 16bit）または 96kHz（量子化ビット数 16bit）に対応している必要があります。

⑤アナログ音声出力端子（ANALOG OUTPUT)

アンプなどのアナログ音声入力端子（TUNER IN など）に RCA ステレオピンケーブルで接続します。端子には L（左）チャンネル（黒色）と R（右）チャンネル（赤色）がありますので、必ず同じチャンネルに繋いでください。

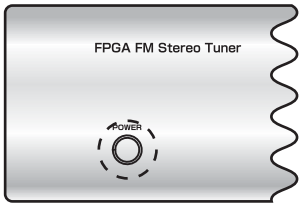
⑥電源入力端子（AC IN)

付属の電源ケーブルで家庭のコンセントに接続してください。本機が使用できるのは日本国内で、AC100V のコンセントに対応しています。

3 操作の仕方

この項では本機の操作方法について説明します

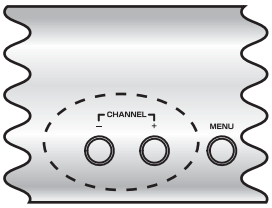
[電源を入れる]



電源ボタンを押して電源を入れます。

ディスプレイにオープニング文字が出たあと、ラストチャンネルの受信周波数と放送局名が表示されます。

[チャンネルを選ぶ]



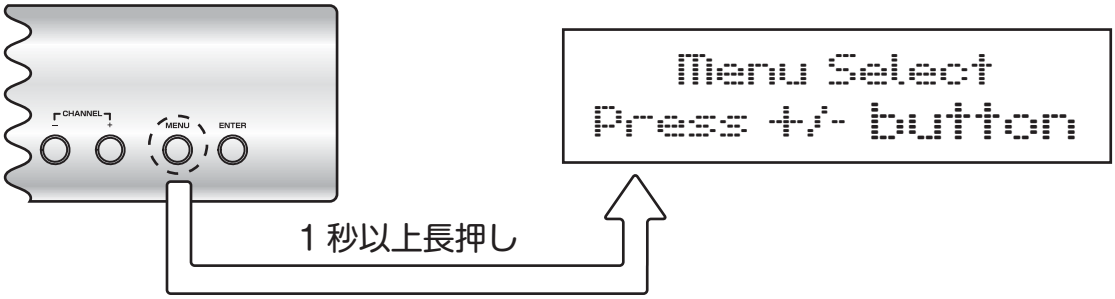
チャンネルの +/- ボタンを押して、ご希望の選局をします。

チャンネルは最大 4 チャンネルです。

[メニューモードで各種設定をする]

「MENU」ボタンを 1 秒以上押すと、メニュー選択画面になります。

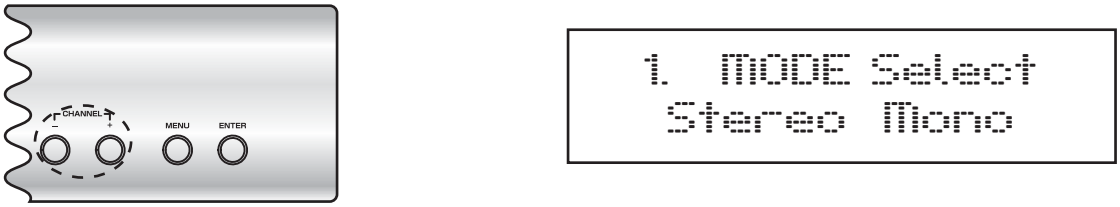
この画面のとき、再度「MENU」ボタンを押すとチャンネル表示に戻ります。



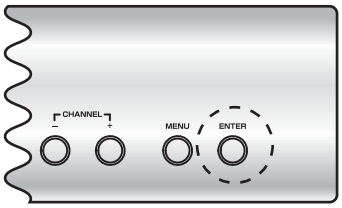
メニューモードでは音声出力を STEREO か MONO にするかを選んだり、サンプリング周波数を変更したりすることができます。

◆音声出力モードを選択する

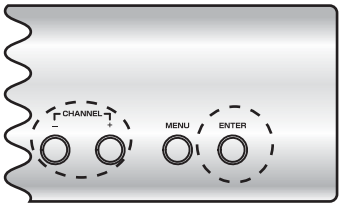
メニュー選択画面の状態で、「CHANNEL」の＋または－ボタンを押し、次の表示に変えます。



前項の表示になったところで、ENTER ボタンを押します。ENTER ボタンを押すと、設定項目が確定され、Stereo/Mono の文字の先頭の“_”の表示（カーソル）が点滅します。



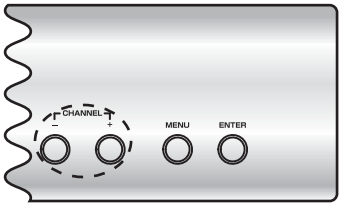
「CHANNEL」の＋または－ボタンを押すと、前述のカーソルが左右に動きます。設定したい項目の前にこのカーソルを移動させ、ENTER ボタンで確定させます。すると、カーソルが“→”に変わります。

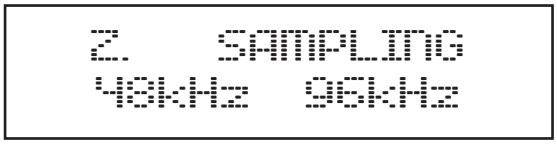


更に ENTER ボタンを押して、メニュー画面に戻ります。続いて、サンプリング周波数を変更したい場合は次項を参照してください。ここで設定を終わりたい場合は「MENU」ボタンを押してください。

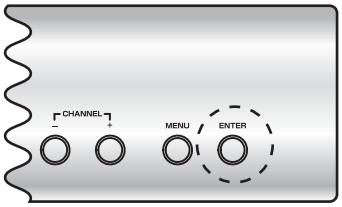
◆サンプリング周波数を変更する

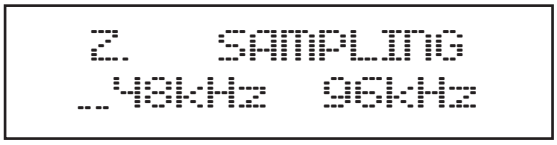
メニュー選択画面の状態で、「CHANNEL」の＋または－ボタンを押し、次の表示に変えます。



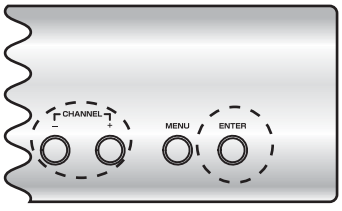


前項の表示になったところで、ENTER ボタンを押します。ENTER ボタンを押すと、設定項目が確定され、48kHz 96kHz の文字の先頭の“_”の表示（カーソル）が点滅します。





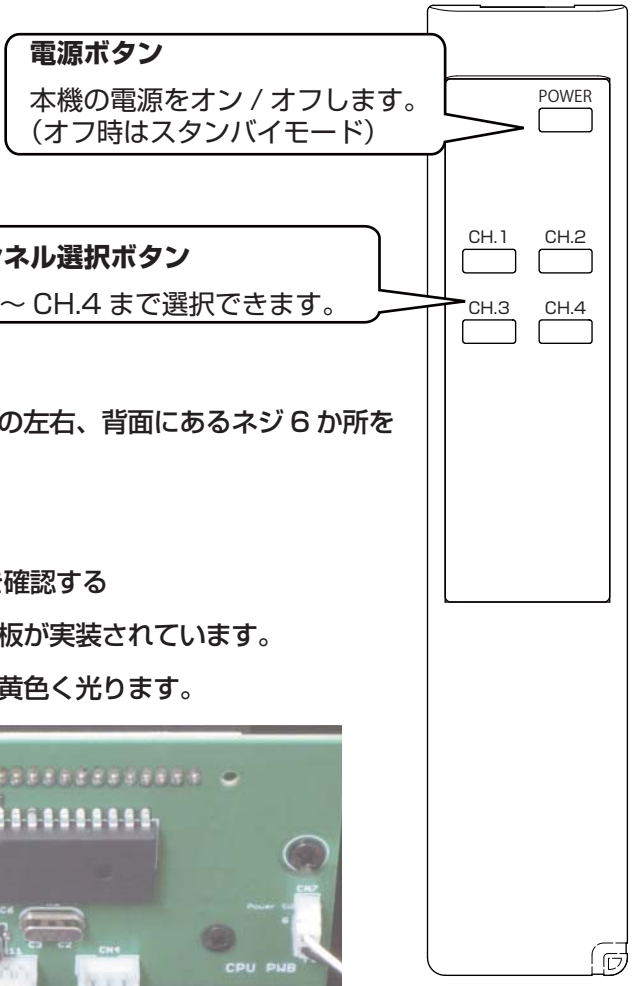
「CHANNEL」の＋または－ボタンを押すと、前述のカーソルが左右に動きます。設定したい項目の前にこのカーソルを移動させ、ENTER ボタンで確定させます。すると、カーソルが“→”に変わります。



更に ENTER ボタンを押して、メニュー画面に戻ります。メニュー画面から抜けるには「MENU」ボタンを押してください。

4 リモコンの使い方

本機には専用のリモコンユニットが付属します。また､本機リモコンの受光部は学習機能を備えておりますので、後述の手順で、お手持ちのリモコンのコマンド信号を記憶させ、本機を動作させることもできます。



[リモコン受光部の学習機能を使用する]

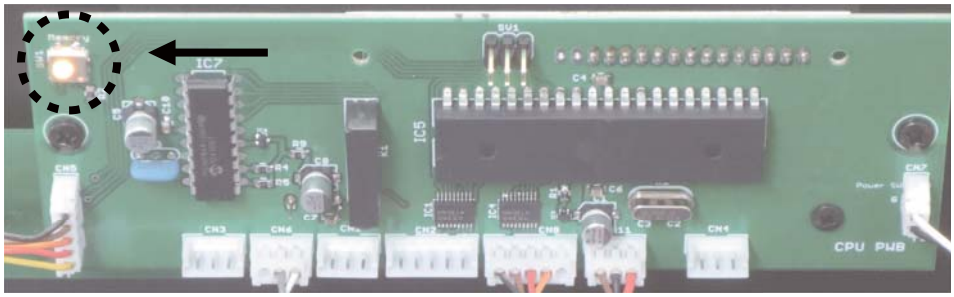
1. 本体カバーを開ける

   電源コードを抜いた状態で、プラスドライバーで本機の左右、背面にあるネジ 6 か所を外し、本体カバーを外します。

2. フロントパネル裏側のインジケーター（黄色点灯）を確認する

   フロントパネル裏側を本機内部から見ると、下図の基板が実装されています。

   ここで電源コードを挿すと、下図で丸く囲んだ場所が黄色く光ります。



3. この黄色く光っているところはスイッチになっています。ここを 1 回押してください。点灯から消灯に変わります。このとき、本機は学習させたいリモコンユニットからの信号を待っている状態になります。

4. 学習させたいリモコンユニットを本機のフロントパネルのディスプレイに向けて、電源ボタンとして学習させたいリモコンユニットのボタンを 1 度押してください。すると、インジケーターが 5 回点滅します。これは学習を完了したことを知らせています。点滅後、消灯します。消灯は次の信号を待っている状態を示しています。

5. 次に CH.1 ボタンとして学習させたいリモコンユニットのボタンを 1 度押してください。すると､インジケーターが 5 回点滅します。点滅後、消灯します。消灯は次の信号を待っている状態を示しています。

5. 同様に CH.2 ～ 4 まで行います。

6. 次に本機では使用していないものの、CH.5、CH.6、CH.7 について学習させる必要があります。CH.5 以降は本機では使用していませんので、適当なボタンを割り当て、学習作業を進めてください。

7.8 チャンネル分の学習が完了すると、黄色のインジケータが点灯します。これで学習は終了しました。実際にリモコンボタンを押して、動作するか試してみてください。
うまく動作しない場合は、本機がうまく信号を受信できなかったか、対応していないリモコンユニットである可能性があります。下記のヒントを参考にしてください。

本機リモコン受光部の学習機能について

・本機受光部の学習リモコンは 8 つのコマンドを記憶させることができますが、本機ではそのうち先頭の 5 つ分しか使用していません。残りの３つに記憶させたコマンドは本機では無効になります。
・一番最初に学習させるコマンドは電源 ON/OFF 機能です。必ず電源を入り切りさせるボタンを学習させてください。
・学習動作時に、リモコンユニットのボタンを長押しすると、次のチャンネルへ同じデータが記憶されることがありますので、黄色のインジケータの点滅が始まりましたらボタンから指を離してください。
・本機の学習リモコンは NEC フォーマット仕様のリモコンで動作を確認しています。SONY や家電製品協会（AEHA) のフォーマット仕様では記憶できない場合があります。
・蛍光灯などのノイズが多い環境でリモコンを使用すると、不動作や誤動作する場合があります。ノイズ源から充分離してご使用ください。

5 主な仕様

入力	アンテナ	F 型コネクタ　1 系統　75Ω
出力	アナログ	RCA 端子　ステレオ　1 系統
	デジタル	RCA 端子　SPDIF　1 系統
		XLR 端子(オス)　AES/EBU　1 系統
		トスリンク　SPDIF　1 系統
1次電源	AC100V　50／60Hz	
消費電力	動作時：9W　　待機時：0.8W	
外形寸法	430mm(w)×80mm(h)×320mm(d)　（突起部除く）	
重量	5.2kg	
付属品	電源ケーブル、取扱説明書、リモコンユニット	
その他	FM チューナの諸特性は FPGA チューナによります	

保証とアフターサービス

製品保証書

品名：FPGA TUNER HOUSING

保証期間： お買い上げから 1 年間

本機のシリアルナンバー

ここにラベル貼付されていないものは無効です

本保証書は保証期間中、以下の無償保証規定に定める範囲内で、本製品に修理依頼時と同様の障害が発生した場合に限り、無償修理をお約束するものです。
本保証書はお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
保証期間内外に関わらず、当該製品におけるアフターサービスのご相談はお気軽に弊社までお問い合わせ下さい。

港北ネットワークサービス株式会社

神奈川県横浜市青葉区市ヶ尾町1156-15-2F　TEL.045-507-3091　FAX.045-507-3092
E-Mail: info@k-ns.jp

[無償修理保証規定]

1. 保証期間中に取扱説明書などに記載されている使用上の注意書きに従った正常な使用状態で本製品が故障した場合には、修理対象品が弊社に持ち込まれた段階で、弊社がその障害の発生を認めるとき、弊社は本規定に従い、無償で修理を行うものとします。無償修理をご依頼される場合には必ず本書をご提示下さい。本保証書が無い場合は無償修理致しかねる場合がありますので予めご了承ください。
2. 無償修理をご依頼頂く際の送料は実費御負担頂く場合があります。
3. 次のような場合、無償修理保証の対象外とします。
（1）無償修理保証では製品の取り扱い説明書が定める通常の利用環境において使用または保管されていなかった場合
（2）地震、火事、洪水など災害を原因とする障害
（3）運送中の事故、製品の落下、落雷や停電による障害など製品に対して外部からの要因による障害
（4）弊社発行の保証書に改ざんが見られる場合
（5）ご提出頂いた保証書と弊社に保管されている修理記録に不一致が見られる場合
（6）弊社が認識していない改造が施されている場合
4. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

※本保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

＜発行元＞

港北ネットワークサービス株式会社　市ヶ尾事業所
神奈川県横浜市青葉区市ケ尾町 1156-15 朝日市ヶ尾マンション2F